

Promind

Progressive/Modern/International/Dynamic

第62期 株主だより

2009年4月1日～2010年3月31日

TOA 株式会社

Contents

株主のみなさまへ

事業の概況

財務ハイライト(連結)

セグメントリポート

グループネットワーク

TOA リポート

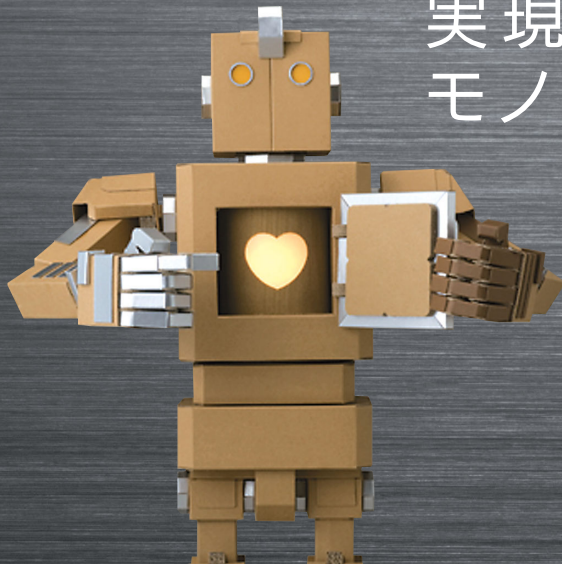
連結財務諸表の概要

株式の状況

会社の概要

株主メモ

ココロが満足する「音」づくり、
実現するのは、TOAの
モノづくり精神です。



モノづくりの妖精

TOAのモノづくり精神とは、商品だけを指すものではなく、TOAの施工、顧客サービス、社員の行動など、あらゆる事業活動の中に共通して存在する「志」です。「モノづくりの妖精」は、この「志」を視覚的に表現した、企業広告のキャラクターです。

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素は当社業務に格別のご理解とお引き立てを賜り誠にありがとうございます。

平成22年3月31日をもって当社第62期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）が終了いたしましたので、ここに当期の業績についてご報告申し上げます。

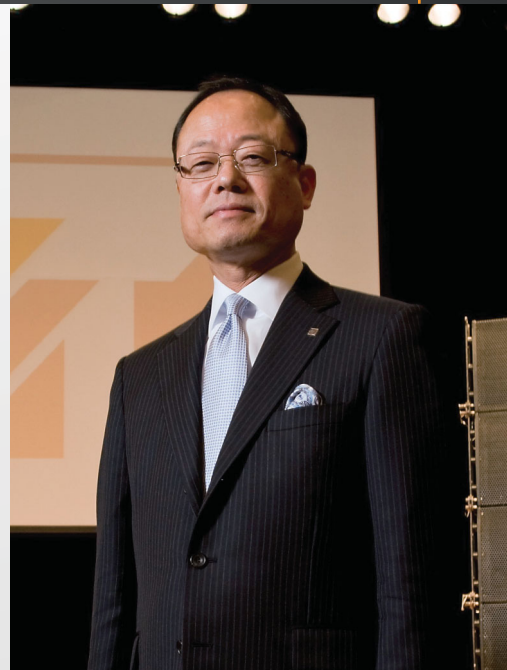
当期の期末配当金につきましては、1株につき10円（中間配当金10円を加え年間配当金は1株につき20円）としてお支払いさせていただくことになりました。

当社グループは、『中期6ヵ年経営基本計画』の実現に向けてさまざまな施策を推進しており、これからも全てのステークホルダーの信頼と期待にお応えできるよう、日々、経営を行っていきます。

株主の皆さまにおかれましては、なにとぞ一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

代表取締役社長 井谷憲次



当連結会計年度の事業の概況

当連結会計年度における日本経済は、企業収益に一部改善が見られるものの、景気回復の自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況が続いております。当業界におきましても官公庁や民間の設備投資計画が停滞しており、全般的な需要の回復に至っておりません。

海外においては、アメリカ地域では、金融危機による市場全体の冷え込みが依然として続いております。ヨーロッパ地域では、ギリシャなどの財政危機もあり景気回復が遅れています。アジア地域では、中国における高速鉄道などの交通インフラ整備による内需拡大効果により景気向上の兆しが見え、また上海万博の開催などによる需要が拡大しました。

このような状況の中で、当社グループは、音響分野、セキュリティ分野ともに新商品の導入や商品ラインナップの充実を図ってきましたが、景気低迷の影響を受け販売の拡大までには至りませんでした。また生産面では、国内・海外の生産拠点における生産性の向上に努め、引き続きコスト競争力の強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、31,193百万円（前連結会計年度比10.6%減）となりました。

利益面については、販売費および一般管理費の抑制効果があったものの、売上高の減少が大きく影響し、営業利益は1,688百万円（前連結会計年度比40.7%減）、経常利益は、1,756百万円（前連結会計年度比38.2%減）となりました。ま

た、投資有価証券売却益141百万円を特別利益に計上しました。一方で投資有価証券評価損222百万円、英国の子会社清算に伴う関係会社整理損失引当金繰入額113百万円、製品の改修費用の支出に備えた製品保証引当金繰入額459百万円を特別損失にそれぞれ計上しました。

これらの結果、当期純利益は1,009百万円（前連結会計年度比40.8%減）となりました。

【音響セグメント】

国内販売は、地方自治体が主体となって推進する“防災行政放送システム”へのIP告知端末の納入や防災無線用スピーカーなどが増加しましたが、大型商業施設などの民間需要の落

込みにより売上や利益は減少しました。

海外販売は、中国での高速鉄道需要や上海万博パビリオンへの放送設備需要があったものの、アメリカ地域での設備投資の縮小や欧州地域での新電波法による現行ワイヤレスシステムの買い控えが発生し売上や利益は減少しました。

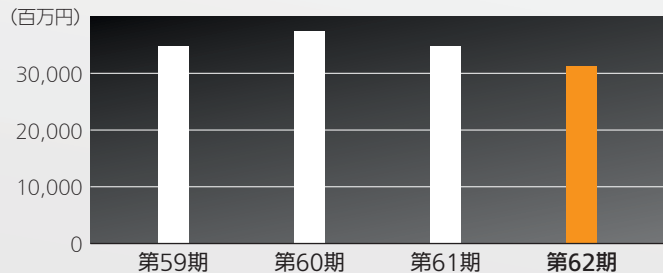
【セキュリティセグメント】

高速道路料金所の監視カメラシステムや繁華街の街頭防犯システムなどの受注があったものの、マンションなどの民間建築需要の減少などにより売上と利益は減少しました。

05 財務ハイライト(連結)

売上高

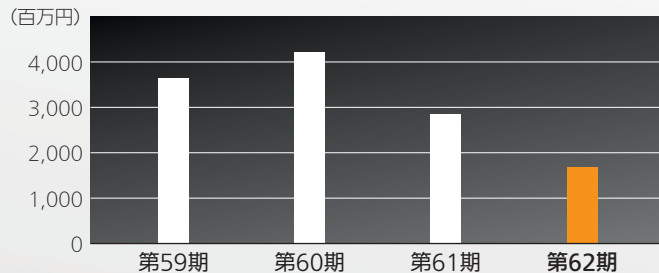
31,193 百万円



売上高	第59期	第60期	第61期	第62期
	34,844	37,509	34,874	31,193

営業利益

1,688 百万円

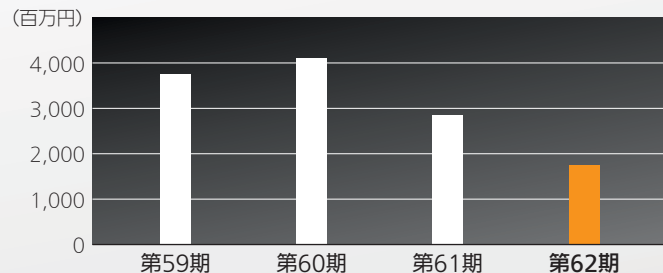


営業利益	第59期	第60期	第61期	第62期
	3,641	4,212	2,845	1,688

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

経常利益

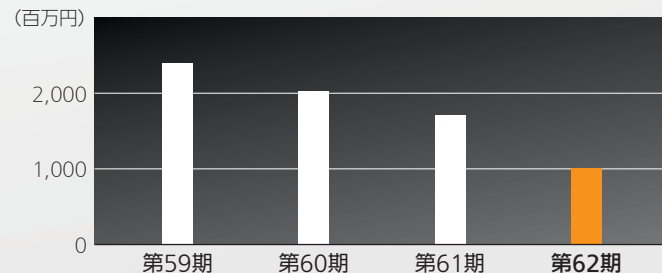
1,756 百万円



経常利益	第59期	第60期	第61期	第62期
	3,756	4,107	2,843	1,756

当期純利益

1,009 百万円



純利益	第59期	第60期	第61期	第62期
	2,398	2,029	1,707	1,009

音響セグメント

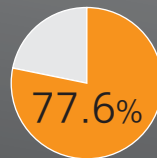
売上高 **24,196** 百万円

駅や空港の拡声放送や、商業施設での呼出し放送やBGMなど、公共空間の音によるコミュニケーション分野において、スピーカーやマイクロホンなどの音響機器の製造・販売、音

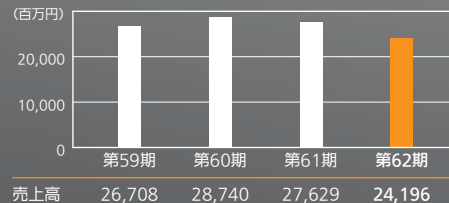
響設計の支援や施工の管理など、音に関する幅広い事業を行なっております。



売上高比率



売上高の推移



セキュリティセグメント

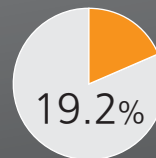
売上高 6,004百万円

昨今「防犯」に対する関心が高まっている中で、当社は主に産業用監視カメラなどの映像関連機器を中心に、防犯と、安全を守るためのトータルシステムをご提供する、「セキュリ

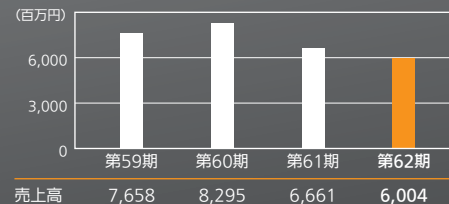
ティメーカー」として、お客さまのお役に立ちたいと考えております。



売上高比率

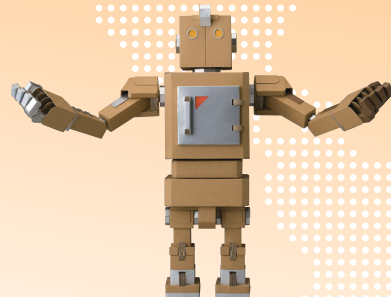


売上高の推移



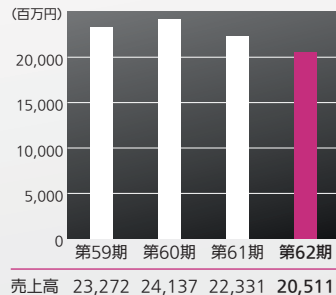
09 グループネットワーク

- TOA CORPORATION (UK) LIMITED (英国)
 - TOA Electronics Europe G.m.b.H. (ドイツ)
 - BBM ELECTRONICS GROUP LIMITED (英国)
 - TOA ELECTRONICS SOUTHERN AFRICA (PROPRIETARY) LIMITED (南アフリカ)
 - PT. TOA GALVA INDUSTRIES. (インドネシア)
 - PT. TOA GALINDRA ELECTRONICS. (インドネシア)
 - 得洋電子工業股份有限公司 (台湾)
 - 得技電子 (深圳) 有限公司 (中国)
 - TOA VIETNAM CO.,LTD. (ベトナム)
 - TOA ELECTRONICS TAIWAN CORPORATION (台湾)
 - TOA (HONG KONG) LIMITED (香港)
 - TOA (CHINA) LIMITED. (中国)
 - TOA ELECTRONICS PTE LTD (シンガポール)
 - TOA ELECTRONICS (M) SDN.BHD. (マレーシア)
 - TOA ELECTRONICS, INC. (米国)
 - TOA CANADA CORPORATION (カナダ)
- 【国内】
- アコース(株)
 - タケックス(株)
 - TOA エンジニアリング(株)
 - (株)ジーベック

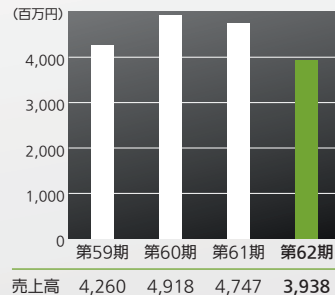


地域別売上高

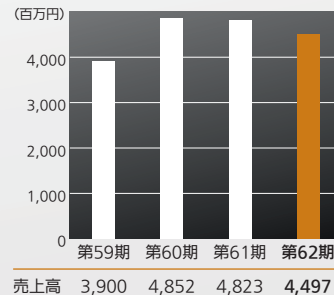
国内



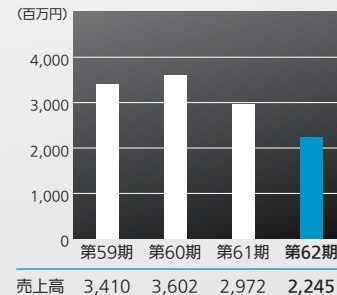
欧州・中近東



アジア・オセアニア



北米・中南米



(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

世界のここで、TOA

Koeberg 原子力発電所 (南アフリカ)

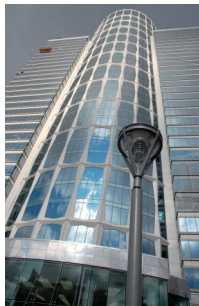
南アフリカ共和国の首都、ケープタウンより約30km北に位置する、南アフリカ大陸唯一の原子力発電所にTOAのマトリクスシステムが採用されています。分散配置された機器は、ネットワークを使って集中管理され、大規模な放送システムが構築されています。



Photographer: Bjorn Rudner Supplied by: Generation Communication

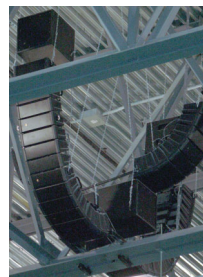
Nordstar Tower (ロシア)

モスクワに位置する42階建、高さ170mの高層オフィスビルにTOAのマトリクスシステムが採用されています。57ゾーンに分けられた放送系統でオフィステナント、パーキングエリアなどの放送をカバーしています。



Terrebonne 屋内サッカー場 (カナダ)

カナダ・ケベック州にある室内サッカー場ではTOAのサウンドシステムが採用され、競技フィールドの天井に設置されたコンパクトアレイスピーカーなどが、選手や観客席にページング放送やBGMを届けています。



倉敷市役所（日本）

岡山県倉敷市で整備が進められている既存の光ファイバー網（かわせみネット）を活用した緊急情報提供システムに、TOAの技術が役立っています。



New Products

防犯カメラ用「9局/16局 デジタルレコーダー」を機能強化し、4機種を新発売（2009.12.25）

デジタル
レコーダー16局



緊急地震速報、行政放送など、音声情報の配信に最適な「IP告知放送システム」を拡充し、発売（2009.12.25）

IP告知設備用
端末



セキュリティ用途にも適した統合連絡システム「パケットインターカム」を拡充し、学校や商業施設向けの機能を強化した拡張用機器を新発売（2010.2.23）



IPインカム
呼出表示灯付サブ端末

ニュース & トピクス 【第62期の事業活動 ▲販売体制 ●プロモーション ◆社会貢献活動】

▲ 中国大陆における5番目の販売拠点として、中国成都支店を開設

● イタリアのミラノで開催された世界最大規模のデザイン展「ミラノ・サローネ」に防滴メガホンを出展

● アメリカのフロリダ州、オーランドで開催された世界最大規模のAV機器展「InfoComm2009」に出展

◆ 兵庫県教育委員会の主催する中学生の社会体験プログラム「トライやる・ウィーク」に協力

▲ 「TOA南アフリカ販社」を開設



◆ 「丹波の森国際音楽祭 シューベルティアード たんば2009」に協賛



◆ 神戸文化ホール大ホールで開催された「神戸JAZZ 2009～Students meet カルロス管野スペシャルビッグバンド with マリーン」に協力



2009年4月

5月

6月

7月

8月

9月

▲ロシア連邦モスクワに「TOA欧州販社ロシア支店」を開設

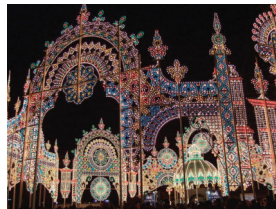
●幕張メッセで開催された音と映像と通信のプロフェッショナル展「国際放送機器展 Inter BEE 2009」に出展

◆小学生による即興音楽のパフォーマンス体験「TOA Music Workshop 2009」の開催(10月、11月、2010/3月)

10月

11月

◆「神戸ルミナリエ2009」の音演出に協賛



© Valerio Festi/I&F Inc./Kobe Luminarie O.C.

12月

2010年1月

▲ニューヨークに鉄道車両用放送設備専門子会社「TOA Communication Systems, Inc.」を設立

◆TOAのメセナ活動が、第12回PRアワードグランプリで「優秀賞」を受賞

2月

●日本国内最大級の防犯・防災関連の展示会「SECURITY SHOW 2010」に出展



3月

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期 2010年3月31日現在	前 期 2009年3月31日現在
資産の部	35,842	34,397
流動資産	25,748	25,009
固定資産	10,094	9,388
資産合計	35,842	34,397
負債の部	7,397	6,906
流動負債	4,957	4,536
固定負債	2,440	2,369

科 目	当 期 2010年3月31日現在	前 期 2009年3月31日現在
純資産の部	28,445	27,491
株主資本	28,696	28,367
評価・換算差額等	△896	△1,407
負債純資産合計	35,842	34,397

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書

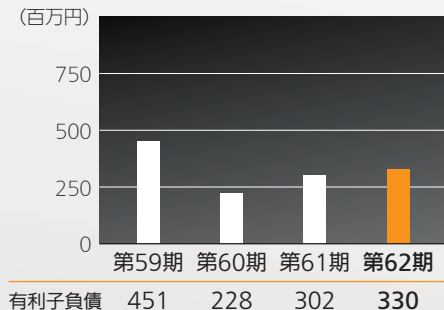
(単位：百万円)

科 目	当 期 2009年4月1日～ 2010年3月31日	前 期 2008年4月1日～ 2009年3月31日
売上高	31,193	34,874
売上原価	16,947	18,778
売上総利益	14,245	16,095
販売費及び一般管理費	12,557	13,250
営業利益	1,688	2,845
営業外収益	166	229
営業外費用	98	232

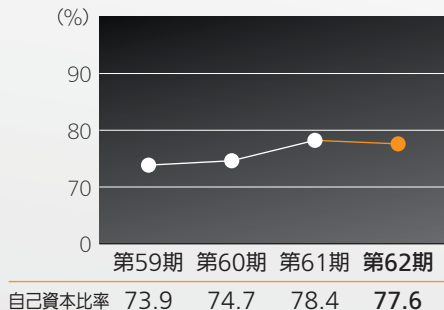
科 目	当 期 2009年4月1日～ 2010年3月31日	前 期 2008年4月1日～ 2009年3月31日
経常利益	1,756	2,843
特別利益	141	21
特別損失	795	174
税金等調整前当期純利益	1,102	2,689
法人税等	52	933
少数株主利益	39	49
当期純利益	1,009	1,707

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

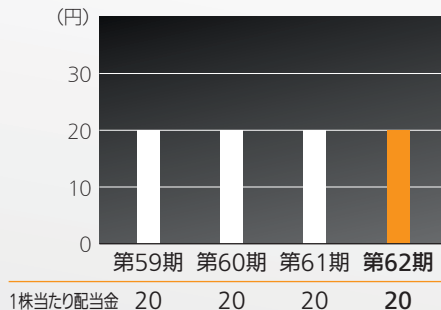
有利子負債



自己資本比率



1株当たり配当金



利益分配に関する基本方針

当社は、株主への利益還元の充実を経営の優先課題の一つとして位置づけております。

利益分配に関しましては、安定的な配当を基本におくとともに、業績を勘案し

つ株主への利益還元を図ってまいります。また内部留保にも意を配り、長期的に安定した経営基盤を確保するとともに、積極的な研究開発投資を行い会社の競争力を高め、また財務体質の強化を図ることにより、企業価値の向上に努めてまいります。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 2009年4月1日～ 2010年3月31日	前 期 2008年4月1日～ 2009年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,396	1,411
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 927	△ 748
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 735	△ 992
現金及び現金同等物に係る換算差額	121	△ 753
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	854	△ 1,083
現金及び現金同等物の期首残高	10,864	11,947
現金及び現金同等物の期末残高	11,719	10,864

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ854百万円増加し、当連結会計年度末には、11,719百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は2,396百万円となりました。これらは主に、法人税の支払いが456百万円ありましたが、税金等調整前当期純利益が1,102百万円あったこと、減価償却費などの非資金項目を調整したことなどにより資金が増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は927百万円となりました。これらは主に、海外及び国内生産子会社の生産設備などの取得による資金の減少が312百万円あったこと、事業譲受による支出が218百万円あったことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は735百万円となりました。これらは主に、配当金支払いによる資金の減少が676百万円あったことなどによるものです。

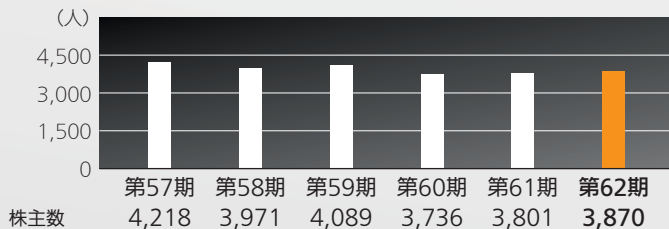
19 株式の状況

株式総数および株主数

2010年3月31日現在

発行可能株式総数	78,820,000株
発行済株式の総数	35,536,635株
株主数	3,870名

株主数の推移



大株主

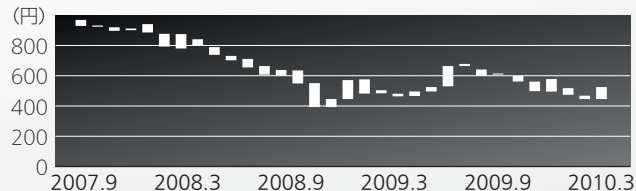
2010年3月31日現在

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
中谷忠子	2,658	7.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,385	7.04
TOA取引先持株会	1,703	5.03
井谷憲次	1,693	5.00
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,681	4.96
シスメックス株式会社	1,457	4.30
株式会社三井住友銀行	1,188	3.51
財団法人中谷電子計測技術振興財団	1,040	3.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	810	2.39
井谷博一	783	2.31

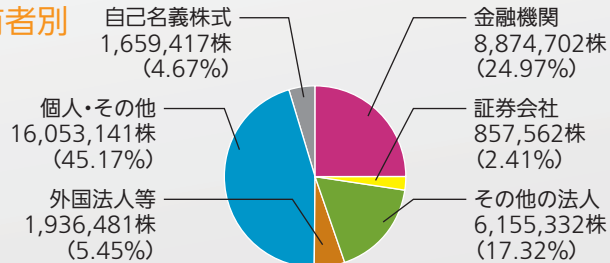
(注) 1. 当社は、自己株式数(1,659千株)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

2. 持株比率は、自己株式数を控除して算出しております。

株価の推移



所有者別



投資家・IR 情報ウェブサイト

<http://www.toa.co.jp/ir/>

TOA のホームページでは、投資家・株主さまに向けた IR 情報の充実を図っております。



会社概要

2010年3月31日現在

設 立	昭和24年（1949年）4月20日 創業昭和9年（1934年）
資 本 金	52億7,984万7,440円
従 業 員 数	2,710名（連結） 744名（当社）
本社所在地	神戸市中央区港島中町七丁目2番1号
電 話	(078) 303-5620（代）

役 員

2010年6月25日現在

代 表 取 締 役 社 長	井 谷 憲 次
取 締 役 常 務 執 行 役 員	竹 内 一 弘
取 締 役 常 務 執 行 役 員	増 野 善 則
取 締 役 執 行 役 員	畠 中 敏 彦
取 締 役 執 行 役 員	寺 前 順 一
常 勤 監 査 役	西 川 寿 生
監 査 役	井 上 尚 雄
監 査 役	安 藤 猪 平 次

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 大阪証券取引所 市場第一部

公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.toa.co.jp/ted/ (当社のホームページに掲載) ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
-------	---

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

単元未満株式の買取請求および買増請求制度のご案内

当社は、単元未満株式（1～999株）の買増制度と買取制度を採用しております。現在単元未満株式をご所有の株主様におかれましては、ご希望に応じて、次のいずれかの方法により整理できますので、ご案内申し上げます。

【買取請求制度について】

1,000株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却することができる制度です。

株主様の1,000株未満の株式

当社に市場価格で売却

現金化

（例）800株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。

【買増請求制度について】

1,000株（単元株式）に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、単元株式にすることができる制度です。

株主様の1,000株未満の株式

当社から市場価格で購入

1,000株

（例）800株を保有の場合、200株を買い増して、1,000株にすることができます。

※買取制度および買増制度をご利用の際は、当社所定の手数料および消費税をご負担いただきます。

TOA 株式会社

〒650-0046 神戸市中央区港島中町七丁目2番1号
コンプライアンス部 Tel: (078) 303-5620
<http://www.toa.co.jp/>

住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、その他株式に関する各種手続きについてのお取扱場所、お問い合わせ先は以下のとおりです。

① 証券会社口座にある株式
⇒お取引先の証券会社

② 特別口座にある株式
⇒三菱UFJ信託銀行

（*下記までお問い合わせください。）

〒541-8502

大阪府中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

電話0120-094-777（通話料無料）



環境に配慮して大豆インキで印刷しています。

この冊子はユニバーサルデザイン（UD）書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしています。

証券コード 6809



TOAのシンボルマーク

TOAの“T”の文字をモチーフに、4つの企業イメージ目標である

PROGRESSIVE（先進性）、
MODERN（現代性）、
INTERNATIONAL（国際性）、
DYNAMIC（躍動性）

を表現しています。